

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 FDK株式会社

コード番号 6955 URL <http://www.fdk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 望月 道正

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長

(氏名) 平野 芳晴

TEL 03-3434-1271

四半期報告書提出予定日 平成25年8月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	18,894	14.4	320	—	420	—	451	—
25年3月期第1四半期	16,509	△19.3	△893	—	△993	—	△790	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,093百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △1,420百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.08	1.62
25年3月期第1四半期	△3.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	59,317	8,225	12.8
25年3月期	58,720	8,150	11.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,619百万円 25年3月期 6,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	8.8	2,200	—	1,900	989.2	1,000	120.6	4.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 旭化成FDKエナジーデバイス株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	217,505,884 株	25年3月期	217,505,884 株
26年3月期1Q	234,246 株	25年3月期	233,228 株
26年3月期1Q	217,271,917 株	25年3月期1Q	217,275,837 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

第一回優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年 3 月期		0.00		0.00	0.00
26年 3 月期					
26年 3 月期(予想)		0.00		0.00	0.00

第二回優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年 3 月期		0.00		0.00	0.00
26年 3 月期					
26年 3 月期(予想)		0.00		0.00	0.00

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境につきましては、新政権下における各種政策などによる経済成長への期待感から、円安とともに株価上昇など景気回復の明るい兆しが見えはじめた一方で、新興国経済の減速懸念が払拭されず、先行きは不透明な状況で推移しました。当社グループが属しているエレクトロニクス分野は低価格品との競争の激化、販売数量の安定的回復の遅れ等、市況の足取りは未だ確かとは言い難く、また円安により期後半には原材料価格の高騰も懸念されるなど、厳しい状況が続くものと予想されております。

このような状況のなか、当社グループは本年4月にスタートした中期事業計画(2013-2015)に掲げた目標の達成に向け、電池・電子の既存事業の収益基盤を確固たるものとし、それぞれの保有技術のシナジーから生み出される効果を最大限に発揮させるため、前期に引き続き、製品全体の材料の見直しおよび調達コストダウンによる材料費削減、商流の見直し、生産性の向上、徹底的なムダの排除による固定費の削減を行うことにより、さらなる損益分岐点の引き下げに取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上状況につきましては、ニッケル水素電池の海外向けOEM販売、タブレット端末用途ならびに大型液晶TV用途向け液晶ディスプレイ用信号処理モジュールが大きく伸長したことから、前年同期に比べ23億85百万円増の188億94百万円となりました。

損益面につきましては、売上の増加や前期から継続しているコストダウンによる効果とともに、円安効果も加わったことにより、営業利益は前年同期に比べ12億13百万円改善し、3億20百万円となりました。経常利益は、前年同期に比べ14億13百万円改善の4億20百万円、四半期純利益は、前年同期に比べ12億42百万円改善の4億51百万円となりました。

<ご参考>

〔四半期(3ヵ月)毎の経営成績(連結)の推移〕

	売上高	原価率	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
平成25年3月期第1四半期	16,509	89.2	893	993	790
平成25年3月期第2四半期	18,600	89.5	733	730	775
平成25年3月期第3四半期	18,530	84.8	351	874	872
平成25年3月期第4四半期	19,907	83.7	748	1,023	1,146

平成26年3月期第1四半期	18,894	84.4	320	420	451
前年同期比	+2,385	4.8	+1,213	+1,413	+1,242

事業別の売上概況は以下のとおりです。

電池事業

アルカリ乾電池は、国内の市販が東日本大震災発生後市場に流通している低価格品との競争激化や市況の低迷があるものの、海外のOEM販売が伸長したことから、前年同期を上回りました。ニッケル水素電池は、海外のOEM販売ならびに工業用途向けが伸長し、前年同期を大きく上回りました。リチウム電池は、国内外の防災機器、セキュリティ用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ7億61百万円増加の108億52百万円となりました。

電子事業

フェライト・コイルデバイスは、山陽工場における高性能品の開発効果もありハイブリッド車向けが堅調に推移したものの、家電機器向けが落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。セラミックス部品・トナーは、高い受注水準を維持し、前年同期並みを確保しました。DC-DCコンバータ(電圧変換器)は、サーバ・ストレージ向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。積層チップパワーインダクタ、高周波積層部品は、スマートフォン向けが好調に推移し、前年同期を上回りました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、タブレット端末用ならびに中国市場での大型液晶TV用が好調に推移し、前年同期を大きく上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ16億23百万円増加の80億42百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ5億96百万円(1.0%)増の593億17百万円となりました。流動資産は前連結会計年度に比べ10億67百万円(3.1%)増の358億28百万円、固定資産は前連結会計年度に比べ4億70百万円(2.0%)減の234億88百万円となりました。流動資産増加の主な要因は、商品及び製品が4億54百万円、受取手形及び売掛金が2億91百万円それぞれ増加したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、旭化成FDKエナジーデバイス株式会社の連結除外などにより投資有価証券が17億66百万円増加しましたが、有形固定資産が22億41百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ5億20百万円(1.0%)増の510億91百万円となりました。流動負債は前連結会計年度に比べ8億70百万円(2.1%)増の422億84百万円、固定負債は前連結会計年度に比べ3億49百万円(3.8%)減の88億6百万円となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金が8億43百万円、支払手形及び買掛金が3億51百万円それぞれ増加したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、退職給付引当金が2億2百万円、負ののれんが1億89百万円それぞれ減少したことによるものです。

なお、有利子負債残高は、前連結会計年度に比べ9億91百万円増の237億25百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ75百万円(0.9%)増の82億25百万円となりました。純資産増加の主な要因は、旭化成FDKエナジーデバイス株式会社の連結除外などにより少数株主持分が10億21百万円減少しましたが、四半期純利益の計上により利益剰余金が4億51百万円、為替換算調整勘定が6億41百万円それぞれ増加したことによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加や仕入債務の減少などによる現金及び現金同等物(以下「資金」という)の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上や減価償却費、売上債権の減少などによる資金の増加により10億32百万円の資金増加(前第1四半期連結累計期間は7億48百万円の資金減少)となりました。

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や関係会社株式の取得による支出などにより16億45百万円の資金減少(前第1四半期連結累計期間は7億8百万円の資金減少)となりました。

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加などにより7億19百万円の資金増加(前第1四半期連結累計期間は13億79百万円の資金増加)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末の資金残高は期首残高より1億64百万円減少し、51億32百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想は、平成25年4月26日発表の公表値を据え置いております。

なお、今後、市場の動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社と旭化成株式会社との合併会社である旭化成FDKエナジーデバイス株式会社は平成25年4月30日に実施した増資により、持株比率が当社50%、旭化成株式会社50%に変更となりました。これにより旭化成FDKエナジーデバイス株式会社は、当社の連結子会社から持分法適用関連会社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,307	5,132
受取手形及び売掛金	20,704	20,995
商品及び製品	2,386	2,841
仕掛品	2,937	3,089
原材料及び貯蔵品	1,677	1,856
繰延税金資産	132	136
その他	1,669	1,836
貸倒引当金	55	58
流動資産合計	34,761	35,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,038	7,717
機械装置及び運搬具(純額)	6,550	5,208
工具、器具及び備品(純額)	884	747
土地	3,437	3,449
リース資産(純額)	1,238	1,402
建設仮勘定	1,226	608
有形固定資産合計	21,376	19,134
無形固定資産		
	778	764
投資その他の資産		
投資有価証券	161	1,928
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	218	215
その他	1,422	1,443
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	1,804	3,588
固定資産合計	23,959	23,488
資産合計	58,720	59,317

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,565	15,917
短期借入金	21,279	22,122
リース債務	363	414
未払金	1,254	1,302
未払法人税等	243	111
災害損失引当金	137	131
その他	2,569	2,283
流動負債合計	41,414	42,284
固定負債		
リース債務	1,091	1,188
繰延税金負債	3	4
退職給付引当金	6,313	6,110
負ののれん	1,328	1,138
その他	419	364
固定負債合計	9,156	8,806
負債合計	50,570	51,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,301	28,301
資本剰余金	22,622	22,622
利益剰余金	43,767	43,316
自己株式	42	42
株主資本合計	7,114	7,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	21
為替換算調整勘定	609	31
その他の包括利益累計額合計	591	53
少数株主持分	1,628	606
純資産合計	8,150	8,225
負債純資産合計	58,720	59,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	16,509	18,894
売上原価	14,730	15,941
売上総利益	1,778	2,953
販売費及び一般管理費	2,672	2,633
営業利益又は営業損失()	893	320
営業外収益		
受取利息	4	2
為替差益	-	170
負ののれん償却額	189	189
受取賃貸料	5	49
その他	22	23
営業外収益合計	222	435
営業外費用		
支払利息	38	35
為替差損	227	-
持分法による投資損失	17	242
固定資産除却損	8	8
その他	28	49
営業外費用合計	321	335
経常利益又は経常損失()	993	420
特別利益		
補助金収入	-	83
特別利益合計	-	83
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	993	503
法人税、住民税及び事業税	33	66
法人税等調整額	43	9
法人税等合計	9	57
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	983	445
少数株主損失()	192	5
四半期純利益又は四半期純損失()	790	451

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	983	445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	4
為替換算調整勘定	388	574
持分法適用会社に対する持分相当額	47	68
その他の包括利益合計	437	647
四半期包括利益	1,420	1,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,225	1,097
少数株主に係る四半期包括利益	195	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	993	503
減価償却費	719	680
補助金収入	-	83
退職給付引当金の増減額(は減少)	125	202
貸倒引当金の増減額(は減少)	5	0
受取利息及び受取配当金	5	3
支払利息	38	35
為替差損益(は益)	6	6
持分法による投資損益(は益)	17	242
有形固定資産売却損益(は益)	0	1
固定資産除却損	8	8
負ののれん償却額	189	189
売上債権の増減額(は増加)	265	469
たな卸資産の増減額(は増加)	1,476	701
仕入債務の増減額(は減少)	392	340
未払費用の増減額(は減少)	179	69
その他	539	739
小計	628	1,219
利息及び配当金の受取額	5	3
補助金の受取額	-	83
利息の支払額	38	35
法人税等の支払額	87	238
営業活動によるキャッシュ・フロー	748	1,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3	0
定期預金の払戻による収入	300	10
有形固定資産の取得による支出	977	838
有形固定資産の売却による収入	4	92
無形固定資産の取得による支出	20	21
投資有価証券の取得による支出	20	0
関係会社株式の取得による支出	-	888
その他	9	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	708	1,645
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,454	807
自己株式の取得による支出	0	0
少数株主からの払込みによる収入	-	6
ファイナンス・リース債務の返済による支出	75	94
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,379	719
現金及び現金同等物に係る換算差額	173	260
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	251	367
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	532
現金及び現金同等物の期首残高	5,875	5,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,624	5,132

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,090	6,418	16,509		16,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	10,090	6,418	16,509		16,509
セグメント利益又は損失 ()	1,016	123	893		893

(注) セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,852	8,042	18,894		18,894
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	10,852	8,042	18,894		18,894
セグメント利益	5	314	320		320

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。